

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- 分かる授業・児童の思考を深める授業の実践
- 言語活動を充実させ、児童の表現力を伸ばす授業の実践
- 子ども同士が互いに認め合い、学び合う授業の実践

日和佐小学校
「学力向上実行プラン」

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 研修主任：中西可奈江 (3学年担任)	委員 教頭：鴛原有紀 教務主任：野田知栄子 通級指導・巡回相談員：森 真美
	5学年担任：岡本寛美 4学年担任：山本知子
	特別支援コーディネーター：藤中三葉

校長

森北 和典

【小中連携または中高連携における共通の取組】

「主体的・対話的で深い学び」の充実を図り、思考力・表現力を伸ばす授業を構築する。

【各校の取組状況の把握について】

管理職・教員相互による授業参観、教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○よい姿勢や話形表の掲示を活用することにより、学習に向かう姿勢を整える習慣がついてきている。与えられた課題にまじめに取り組める児童が多く、漢字の読み書きや計算の力は身に付いてきている。 ●学習内容の理解や定着における個人差が大きく、個別支援の必要な児童が多い。長い文章を正確に読み取ることに課題がある。	・聞くこと・話すこと・書くことを大切にし、基礎的・基本的な知識・技能を身に付けることができる。また、文章を正しく読み取ることができる。 ・学習の過程で習得した知識を、既習の知識と関連付け、他の学習や生活の場面において活用することができる。	・漢字・計算の学習を計画的に行い、定着度を確認しながら、復習を継続していく。 ・発問や指示を明確にし、どの児童にも分かりやすい、ユニバーサルデザインを意識した授業を実践する。 ・複数教員による指導体制を効果的に活用し、充実した個別指導を継続する。 ・長文や文章題を読み取る場面では、イメージしやすいように、身近な生活場面を結びつけたり、必要に応じて視覚的支援を取り入れたりする。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○継続的なノート指導や学校全体として取り組んでいるワークの活用により、進んで文章に表現する力が育ってきている。また、自分の思いや考えを伝える機会を意図的に設定することにより、自分の考えを進んで発表する児童が増えてきている。 ●自分の考えを筋道を立てて相手に分かるように表現することや、人の話を正しく聞き取ることに課題がある。また、課題に応じて、必要な情報等を取り入れたり、自分の考えをまとめたり、複数の考えから新しい考えを創造したりすることが難しい。	・教師や友達の話をしっかり聞き取ることができる。 ・自分の考えを、根拠や理由を明らかにし、筋道を立てて、相手に分かるように表現することができる。 ・伝えようという気持ちを持ち、場に応じた声の大きさで、相手に伝わるように話すことができる。 ・習得、活用、探究の各場面において、適切な言語活動により表現することができる。	・話の聞き方指導を掲示を活用して徹底する。 ・まずは個人で考える時間をしっかりと確保し、ペアや小集団で話し合い、みんなに発表するという段階をふんで、自分の考えを表現できるようにする。 ・ホワイトボードやICT等を効果的に用いることで、様々な表現方法や発表形態を身に付けられるようにする。 ・子どもたちの発言をつないでいくことを意識した授業を実践する。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○与えられた課題に対しては、まじめに取り組むことができる児童が多い。 ●自分から課題を見つけたり、疑問に思ったことについて追究したりする態度が十分には育っていない。また、不得意な学習内容に対して粘り強く取り組み、克服することに課題がある。	・学習に主体的に取り組む、自ら課題や問題点を見つけ、進んで考え、学ぶ楽しさや喜びを感じることができる。 ・自分の学習の状況をしっかりと振り返り、自らの課題を解決できるよう計画を立て、見通しをもって実践することができる。	・授業においては、問題解決的な学習ができるよう計画を立てる。 ・毎時間あるいは単元末ごとに振り返りをする時間を意識して設定し、視点を示した上で記述させることで、自分の学習の状況を振り返り、次の学びにつなげられるようにする。 ・学年に応じた自主学習の方法を提示し、宿題以外の家庭学習にも意欲的に取り組めるようにする。			

令和4年度 学力向上ロードマップ

